

〈博多を代表する甘味処が勢揃い〉

■博多スイーツロード



石村萬盛堂



チョコレートショップ



柳田のやきもち



松屋菓子舗



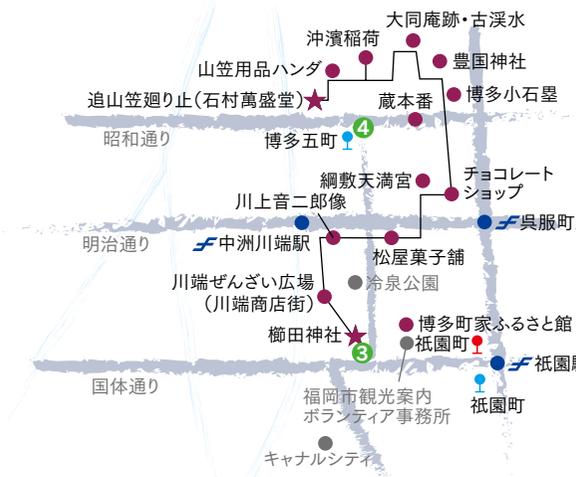
川端ぜんざい広場



豊国神社



町並み



川上音二郎像



古溪水

太閤町割り

博多区(博多部界隈)

巻頭マップ③

心に響く博多商人の心意気

九州平定を終えた豊臣秀吉は、天正十五(一五八七)年六月十日、博多へ到着。戦乱で荒廃した町を博多商人・神屋宗湛を伴い検分した。その秀吉の命によりまちの指図(設計図)が作成され、博多再興の町割りスタートしました。博多の町は十町四方と定められ、市小路を基軸に統一的な区画で仕切られ、碁盤の目のような現在の美しい町並みが誕生しました。これがいわゆる「太閤町割り」といわれるものです。

今回は福岡市観光案内ボランティアの木藪光さんの案内で「太閤町割り・商いコース」に出かけました。

櫛田神社を出発し、川端商店街を通り菅原道真公ゆかりの「綱敷天満宮」、太閤朝鮮出陣時に兵糧の米倉があった「旧蔵本番」、博多再興の大人である豊臣秀吉を祀った「豊国神社」(神屋宗湛屋敷跡)、千利休の事件にからみ京都の大徳寺を追放になった古溪和尚ゆかりの「大同庵跡・古溪水」、川上音二郎生誕碑がある「沖濱稲荷」、「山笠用品店のハンダ」を経てゴールの「追山笠廻り止め」に到着です。

コースにはやきもちが大人気の「櫛田茶屋」をはじめ、日本一甘いと言われる「川端ぜんざい広場」、鶏卵素麺の「松屋菓子舗」、博多のチョコの始まり処「チョコレートショップ」、鶴乃子の「石村萬盛堂」などの甘味処もあり、歩き疲れたら身体を癒すこともできます。

万歩計を見ると四五〇〇歩を示しており、一時間半の「宝物さがし」の散策を楽しみました。次に散策中に見つけた穴場をご紹介します。以前は川端商店街入口にあった「川上音二郎像」を蔵本バス停前の奈良屋公民館の横で発見。次いで豊国神社では豊臣秀吉の座像を見つけました。徳川幕府との関係を考慮しながらも、戦乱で廃墟と化した博多再興の大人である秀吉をいつまでも祀う博多商人の心意気には感動しました。当神社では、太閤町割りで使用した間杖(けんしやう)が御神体とされていましたが、残念ながら昭和二十年六月の大空襲で焼失しました。なおそのレプリカは現在、櫛田神社に展示されています。

「古溪和尚之図」周辺はきれいな花々でいつも彩られており、古溪水を火難除けとして珍重してきた人々の思いが現代にも脈々と伝わる美しい姿に心を打たれました。

- アクセス
- 地下鉄「祇園」駅
 - 「中洲川端」駅
 - 福岡シティーバスグリーン
 - ③ 櫛田神社・博多町家ふるさと館前
 - ④ 博多五町・ホテルオークラ前
 - 西鉄バス「祇園町」
 - 「博多五町」
 - JRバス「祇園町」
- コース散策:約1時間30分



ボランティアガイドの木藪 光さん

※1:川上音二郎:オッペケペー節で一世を風靡した新劇の元祖といわれた俳優。妻の貞奴は日本初の女優。
 ※2:現在は元の場所に戻されています。(地図上は現在地を明記)